月号

No.297

分かっています。 地を訪れたことが 幾度となく高島の

鉄斎と高島のつながり

富岡 · 鉄 斎 没後100年

嫌い、儒学や国学、 ましたが、画家と呼ばれることを つけ、多くの絵画作品を生み出し また独学で多様な絵画技法を身に 門心学を中心に勉学に励みました。 だったので、 なくなりましたが、学問が好き 商家の次男として生まれました。 なり、商いの道に進むことはでき 鉄斎は幼い頃、病で耳が不自由に ある富岡 鉄斎は、天保7年近代日本を代表する文人画家 ・836) 京都三条室町衣棚町の 商人道徳を説いた石 仏教なども広

く学び、儒学者と

す。

で過ごしましたが 生涯の大半を京都 (1924)12月に

なるまで、鉄斎は 数え年8歳で亡く ました。大正13年 しての立場を買き

大田神社の標石

高島での交流

訪れています。 ゆかりの史跡を見ることができま 念碑など、現在も市内各所に鉄斎 明治32年 (1899) に建てられた る知人が住む新旭町太田を複数回 大荒比古神社 (新旭町安井川) の紀 鉄斎が書いた社名を刻んだ標石や (新旭町太田)の氏子から依頼され 明治28年(1895)に大田神社 鉄斎は30歳前後から、交流のあ

文) には、王陽明の言葉が引用さ 画作品の上部に書き込まれる詩 社に納めており、この作品の賛(絵 8月と明治30年(1897)9月25 めた中江 藤樹を尊敬していまし 践の教えを日本の陽明学として広 大きな影響を受けました。その実 れています。 によって、「清渓洗心図」を藤樹神 社社掌の小川 喜代蔵からの依頼 **書院に書を納めています。また、** 日の藤樹先生250年祭には藤樹 た。このため、明治17年(1884) ~1878) に教わった陽明学に 儒学者である春日 潜庵(1811 末から明治初期にかけて活躍した 大正13年 (1924) 5月、藤樹神

> うとしたようです。 品に込められたメッセージを残そ なら、まず賛を見よ。」と語り、

陽明学との出会い

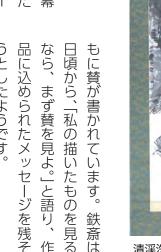
鉄斎は学んだ学問の中でも、 幕

閰 文化財課

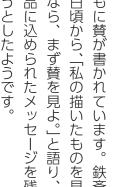
(25) ⊗559

鉄斎の多くの作品には、絵とと

10月は秋ということで、お いしい食べ物、文化・芸術な どいろいろなことが盛りだく さんな時期ですが、皆さんは何の秋を 満喫していますか?私は、スポーツの 秋ということで、9月に引き続いて、 11月に行われる国スポリハーサル大 会を観戦しようと思います。身近なと ころでそれぞれの競技のトップクラス の選手たちの活躍を見ることができる 貴重な機会なので、皆さんもぜひお越









しください!(K)